

会 議 録		令和 5 年12月27日作成	令和 9 年 3 月末日廃棄
会議名	京都府亀岡警察署協議会（令和 5 年度第 3 回）		
開催日	令和 5 年12月 8 日（金曜日）		
時 間	午後 3 時30分から午後 5 時20分までの間（ 110分）		
場 所	京都府亀岡警察署 道場		
出席者	湯浅会長、木曾副会長、栗山委員、櫻間委員、國府委員、内藤委員、サミュエル委員、藤本（妙）委員、藤本（祥）委員、前田委員、矢田委員 計11人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長、広聴相談係長 計10人		
諮 問 事 項	1 刑法犯認知状況及び人身危機事案への対応について 2 交番、駐在所の課題、問題点について 3 交通事故発生状況等について		
会 議 内 容	1 会長挨拶 司会 広聴係長 2 署長挨拶 3 協議 司会 会長 (1) 諮問事項説明 刑法犯認知状況及び人身危機事案への対応について～生活安全課長 【委員】子どもは、日本の宝である。子どもらは目がキラキラしており、大人も元気をもらえる可愛い子どもたちである。 昔は近所付き合いが普通にあったが、今は隣人が誰なのか、誰が住んでいるのかが分からない時代である。 そういった時代で、児童虐待に関するニュース等を聞き、いたたまれない思いをしている。その子らを、何とか救ってあげられないものかと思っている。 いろいろな事情が各家庭にあると思うが、警察や学校などでの子どもを守る対応を願うばかりである。 【委員】虐待等に関しては、小学校、中学校、高校とも、警察の皆様には大変お世話になっている。		

会 議
内 容

通報等があった場合、子どもの安全保護のために緊急に家に行って確認し、保護の判断や家庭支援総合センターに通告する等聞き、よく分かった。しかし、子どもが家庭支援センターに保護されても、いつか必ず元の家に戻ってくる。そこからの各部署との連携が大事であり、子どもを預かる学校としては、一番難しい部分ではと思っている。

通告した後に関して、警察はどんな関わりをされるのか、学校が行うべき事など教えていただきたい。

【警察】基本、警察としては、全件通告により、虐待などを全て土台に上げ、児童の安全を図り児童相談所につなげるなどしている。虐待を認知した場合に、要保護児童対策地域協議会を通じて情報共有し、学校への連絡、教育委員会、生徒指導の先生と連携している。例えば「先日、保護した〇〇さん、その後の学校生活に変化などないですか。」等、相互に連携確認をし、さらに関係する行政とも綿密に連携をしている。

その他としては、後々の虐待継続危険が予想される場合は、交番員のパトロール強化、被害児童への声掛け等指示をしている。

児童相談所から出た後に関して、全件警察が関わることは難しいところもある。

【委員】理解出来た。先ほど申し上げたとおり、児童相談所から家などに戻った際に学校としての対応が難しいと思っている。

自宅に帰った児童の家庭環境や保護者の意識が変わるのかと言うと変わらないのが現実だと思っており、その後、被害児童からS O Sをその子自身が出せるかと言うと全く分からない。児童の異変などに気付くことが大事だと思っている。

今後、保護者対応について警察との連携を緊密にしたいと思っているため、お願いします。

【委員】通報を受け、児童相談所に通告する等に関してだが、警告に関して罰則的なものはあるのか。

【警察】詳しくは申し上げられないが、実子に対する身体的虐待があれば傷害事件として取り扱っている。全件児童相談所への通告をするが、例えば、義父からの性的虐待があれば通報と同時に検挙している。

【委員】ネグレクト等の心理的虐待は難しいのですか。

【警察】ネグレクトは取扱いが難しい。

【委員】どこにでもありそうな話だが、隣家の児童虐待に関する対応についてお聞きしたい。

約3年前に私の自宅の隣に引っ越して来られた家族の話である。その家は、御主人と奥さん、息子さんが中学1年と小学3年の二人で、4人家族である。

引っ越して来られた当初から長男に対し、頻繁に「おいコラ。何してんねん。アホ、ボケ。」と奥さんの大きな怒鳴り声が約30分近く聞こえており、長男が母親から言葉の暴力を受けていることが分かった。

私は隣人として、いたたまれなく何度も警察へ通報しようと思ったが、ためらってしまい通報していない。同じ町内の人も私と同じように思っていたと思う。

一市民として、どの時点で、どう対応したら良いのかお聞かせ願いたい。

【警察】 親からの叱責を含め罵声等は明確に心理的虐待となる。児童虐待の疑いがある場合は通報していただきたい。警察官が現場で児童の身体確認や事情聴取を行うので、疑いがあれば110番でも当署でもよいので、迷わず通報を願いたい。

【警察】 「今まさに大きな声で怒鳴っています。」という場合は、ちゅうちょせず110番通報を願いたい。警察には、相談として対応する係もあることから、「心配なので。」ということ伝えてもらえば、相談対応をする。

人身危機事案のテーマは、再被害防止である。一番有効なのは隔離だが、その他の警察の対応としては、危険レベルが高いと判断すれば自宅訪問、電話での連絡確認、学校担当者との連携を図るなどの対応を行っていく。

人身危機事案とは、発生時、深刻な状況が予想しきれない部分に対して、一歩踏み込んだ対応をし、抑止を図る取組である。

(2) 諮問事項説明

交番、駐在所の課題、問題点について～地域課長

【委員】 110番通報したとき、一体どこにつながるのか。

【警察】 一般の方が110番通報した場合は、京都府警察本部の110番指令センターにかかり、発信地等を特定の上、即座に発生地の警察署に事案を指令する。各警察署に指令室があり、即時に交番、パトカーに指令する。

【委員】 地元の方から、交番に連絡した方が、警察官が来るのが早いと聞いていたが、警察署や交番に電話をかけるより、110番通報の方がいいのか教えていただきたい。

また、レスポンスタイムは110番通報の方が早いのかもお聞きしたい。

【警察】 レスポンスタイムは、110番通報の方が早い。交番などは不在の場合もあり、急を要する事件事故は110番通報がいち早く現場対応ができる。現場がピンポイントに分かり、指令がスムーズに行える利

会 議
内 容

点があるので、事件事故等は110番通報をお願いしたい。

【警察】本部の110番指令センターは、一人が電話で詳細を聞き、聞いた状況をリアルタイムに指令する者がいるため、無線で関係警察署に指令し、即時に対応ができるため、110番通報の方が早く対応できる。

【委員】110番通報の場合、現場の場所は言わなくていいのか。

【警察】場所は、ある程度取れるが、携帯の基地局の数にもよるので、現在地はポイントのずれがあり、現在地などの場所は言っていただきたい。

【委員】交番が留守の場合には、設置の電話はどこにつながるのか。

【警察】警察署の指令室につながり、即時に無線等で指令する。

【委員】今日、交番の方が一年に一度回られる、概要調査というか、防犯指導なのか、何と言うかは知らないが警察官が自宅を来訪された。非常に丁寧な対応であったことを報告しておく。

【委員】私も3週間ほど前に落とし物を拾い、娘と篠交番に届けに行った。対応した警察官は大変丁寧にしてくれ、これなら子ども一人でも安心して気軽に交番に行けるとの印象を受けました。

【委員】篠交番の話だが、トロッコ馬堀駅とJR馬堀駅もあり、住民、観光客も多い交番だが、警察官が不在の時に、外国人の方が道に迷ったのか交番の入口付近で、何か聞きたいような様子でいる状況を数回見掛けた。

外国人向けの案内表示があれば良いと思う。

【警察】以前まで交番来所用に、英語表記の看板「警察官不在にしています。御用の方は、電話で〇〇番に電話をしてください。」を掲示していたが、今はない交番もあるので、各交番とも表示を検討していく。

【委員】篠交番の前で何度か外国人の方が写真を撮っていた。何か珍しい物があるのか、親しみやすい物があるのかと思うが、その光景が不思議に感じていた。

【警察】海外からの観光者は、海外に交番という制度の施設がなく、交番が珍しいとして写真撮影する方が多い。制服で活動中でも一緒に写真をとられる場合も多々ある。

【委員】制服のおまわりさんやパトカーを見れば皆安心する。伝家の宝刀だが、厳しい勤務と思っている。市民が安心して暮らせる様にこれからも頑張っていたきたい。

【委員】再度の確認になるが、私は警察署の近隣に住んでいるが、やはり、事件等が発生した場合、交番に通報するより110番通報の方が早いのか。

【警察】交番は不在の場合もある。110番通報は必ず即時に対応する。しかし震災等でオーバーフローの場合もあり得るが、基本的には、事件

事故は110番通報の方が良い。

【委員】110番の受理件数の数が多いことに驚いた。2割が、いたずらや通報理由の確認が取れないとのことだが、これをどうにかしなければと感じた。

【委員】110番通報と119番通報は連携できているのか、対応が早いと感じている。

【警察】両者はホットラインで結ばれているので、救急なのに何で警察官が来るのか等、現場で言われるが、そこに犯罪があるかないかの確認をしている。

(3) 諮問事項説明

交通事故発生状況等について～交通課長

【委員】暴走族の走行が最近少なくなったのは感じている。

【警察】暴走族対策については、挙署一体となって取り組んでいる。

今も単独での暴走者はいるので、今後も取締りを強化していく。

【委員】以前より「おじさん暴走族」といった年配の方が大きな音を立てて走行しているのを見たことがあり、暴走族が無くなることはないのだろうと思っている。

【警察】いわゆる旧車会と言われる者らが古いバイクに乗り、交通ルールを守って走行しているが、一部マフラーなどを改造している者も見られることから取締りを実施している。現状SNS等旧車会の集団バイク走行の情報等が入れば、本部と共同して違法行為の取締りをしている現状である。

【委員】年齢の負傷者数の中で、30歳代、40歳代が今年増えている様だが原因はあるのか。

【警察】はっきりとは分からないが、おそらくコロナ禍を終え、会社に行くのにリモート勤務から自動車を利用するケースが増え、増加したものと考えられる。

【委員】人身事故の統計を見て、亀岡市は道路事情が悪いこともあるが、自転車のヘルメット装着率が低いことが気になっている。学生を除き、ほとんどの方が装着していない。努力義務ではなく強制にした方が良くと思う。

努力義務の装着でも、行政からも何かPRしてでも、装着率を上げてもらいたいと思う。自動車運転中でも自転車が一番怖いので何か取組を考えてもらいたいと思っている。

【委員】行政も装着率を上げるための啓発活動は行っている。予算審議中だが、ヘルメット購入者に補助金を出す方向としている。検討中の中身は、来年の1月から購入した方の購入金額の半額、上限5千円を考え

ており、補助金については、年齢に関係なく補助する形を検討している。

【警察】警察も自転車ヘルメットは努力義務ではあるが、交通事故防止の啓発と関係機関と連携して、亀岡市でのヘルメット装着率が上がる様に啓発、取締り等引き続き実施していく。

【委員】暴走族等の話だが、違法行為があった場合でも110番通報するとの事だが、暴走族は走っているため、位置が分からないのではないか。暴走族は警察に任せるだけでよいのか教えていただきたい。

【警察】暴走族が走っていれば、110番通報、警察署に通報する方もいる。暴走族は通過してしまうので、通報場所に行ったらいない場合が多いが、同じ場所をくるくる回ったり、行ったり来たりする場合があります、捕まえて取締りや指導を行っている。見掛けたら、警察の方に通報してもらえれば対応するので通報をお願いしたい。

【委員】ロードバイクの自転車はヘルメット装着しているが、もの凄いスピードで走っている。これは大丈夫なのか。

【警察】自転車のスピード取締りはしていないが、ペダルとチェーンが連動しブレーキがないピスト自転車は、公道を走れないので検挙や取締りを行っている。

【委員】王子交差点から、王子並河線は、速度30キロ規制しているが、違反車両が多いので、是非取締りしてほしい。

【警察】取締りの参考とする。可動式の取締機器もあるので取締りする。

5 事務連絡

令和5年度第4回亀岡警察署協議会は、令和6年2月上旬ころ実施予定である。

以上

会 議
内 容

第3回京都府亀岡警察署協議会の開催状況

